



## 盛岡市プレスリリース

～歴史風土に包まれた 心豊かに芸術文化が生きるまち～

令和8年1月8日

交流推進部文化国際課

市政記者クラブ加盟社 各位

# 第10回盛岡劇場「劇団モリオカ市民」公演 『MORIOKA CHRONICHLⅢ 岩山大作戦』の 制作発表を開催します

第10回盛岡劇場「劇団モリオカ市民」公演実行委員会(遠藤雄史会長)と公益財団法人盛岡市文化振興事業団、盛岡市は、第10回盛岡劇場「劇団モリオカ市民」公演『MORIOKA CHRONICHLⅢ 岩山大作戦』の制作発表を開催します。

多くの市民の皆様に3月の本公演の魅力をお知らせし、必要な方に情報が届くよう、周知について特段のご協力をお願いいたします。

記

【日時】令和8年1月13日 火曜 11時～12時まで

【場所】盛岡劇場 メインホール ホワイエ (盛岡市松尾町3番1号)

【内容】アマチュア劇団が20以上も存在する「演劇のまち・盛岡」の特性を生かし、盛岡ならではの演劇作品を演劇以外の異分野異業種の方々を巻き込んで創り上げる企画です。盛岡にしかない題材による地元劇作家の書き下ろし作品を、市民公募のキャスト・スタッフと地元演劇人、盛岡劇場との協働で上演しています。今年度の第10回記念公演のテーマは、“文化”や“人”が集まる場所「岩山」としました。公演の魅力を広く周知できるよう制作発表を開催します。

【主催】第10回盛岡劇場「劇団モリオカ市民」公演実行委員会、公益財団法人盛岡市文化振興事業団

【共催】盛岡市、盛岡市教育委員会、盛岡演劇協会

【添付資料】公演企画書

【問い合わせ】公益財団法人盛岡市文化振興事業団 盛岡劇場 田澤(たざわ)

TEL:019-622-2258 FAX:019-622-1910

### 【担当】

盛岡市 交流推進部 文化国際課 芸術文化係

担当:金野(きんの)

TEL:019-613-8465(直通)

E-mail:[bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp](mailto:bunkakokusai@city.morioka.iwate.jp)

第10回 盛岡劇場「劇団モリオカ市民」公演  
***MORIOKA CHRONICLE III 「岩山大作戦」***  
企画概要



～モリオカの人の、  
モリオカの人による、  
モリオカの人のため  
の、  
演劇の広場～  
「劇団モリオカ市民」

◎事業の名称とシンボルマークの由来

盛岡に徹底的にこだわる演劇公演を上演する、その公演限りの<市民劇団>※という意味を込めて、**盛岡劇場「劇団モリオカ市民」公演** を事業の名称としております。 「劇団」の文字の中には、よく見るとカタカナの「モリオカ」があります。盛岡と演劇との浅からぬ因縁を感じさせるこの文字を、シンボルマークのデザインとしました。  
(※盛岡在住者以外も参加可能)

**1 「劇団モリオカ市民」公演について**

本事業は、平成18年度にスタートしました。アマチュア劇団が20以上も存在する「演劇のまち・盛岡」の特性を生かし、盛岡ならではの演劇作品を演劇以外の異分野異業種の方々を巻き込んで創り上げる企画です。

盛岡にしかない題材による地元劇作家の書き下ろし作品を、市民公募のキャスト・スタッフと地元演劇人、盛岡劇場との協働で上演しています。2年に1度の公演とし、あいだの年は次の公演の企画・準備期間とすることで、地元劇団の舞台製作と無理なく共存できるスタイルを取っています。

**2 公演日・公演回数**

令和8年3月7日(土)・8日(日)

7日(土)：午後1時30分・午後6時30分開演

8日(日)：午後1時30分開演 計3回公演

**3 会場**

盛岡劇場 メインホール

**4 第1シリーズ：「盛岡三大麺」3部作について**

盛岡ならではのテーマとしてはまずは盛岡の三大麺に着目し、平成19年2月に上演した第1回公演では、5人の作家の書き下ろしオムニバス作品「冷麺で恋をして」を上演、第2回公演(21年2月)では、じゃじや麺創始者の一代記「わたしのじゃじや麺」、さらに第3回公演(23年2月)では、わんこそば店の給仕を主人公にした「わんこそばの降る街」を上演し、そのユニークな作劇スタイルで全国的な注目を集めました。

**5 第2シリーズ：「あの年の盛岡」3部作について**

第3回公演(平成23年2月26日・27日)終了直後の3月11日に東日本大震災が発生、岩手県沿岸を津波が襲い、大きな被害をもたらしました。新シリーズの準備会では、次のテーマは、震災や大津波に対する県人としての思いを表現したいという意見で一致。第2期・3部作の共通タイトルは「あの年の盛岡」とし、明治、昭和、平成と過去に3

度も大津波を経験している岩手の体験や歴史的背景を振り返り、その年の盛岡をさまざまな角度から描くことで、自分たちの暮らす地域と人をより鮮明に浮かびあがらせ、地域に脈々と続く大切なものを多くの人と共有し発信しました。

## 6 「MORIOKA CHRONICLE」について

「あの年の盛岡」シリーズが完結し、次は、ある時期の盛岡の特徴的な事柄に着目する「MORIOKA CHRONICLE」をメインテーマとしました。第7回は盛岡市民に広く親しまれる岩手公園(盛岡城跡公園)を取り上げ、「岩手公園ものがたり」を上演。第8回公演は、感染症拡大防止のため令和2年度の公演を令和3年度に延期し、これまでに上演した作品の中でも盛岡ならではの題材で好評を博した第2回公演『わたしのじゃじゃ麺』を新版と題し、「MORIOKA CHRONICLE」番外編として上演しました。そして前回の第9回では、旧盛岡バスセンターをテーマにした「盛岡バスセンターものがたり」を上演。「旧バスセンターにまつわるエピソード」を一般公募することで、より一層市民が演劇に携わる間口を広げる取り組みも行いました。

## 7 「岩山大作戦」について

今年度の第10回記念公演のテーマは、かつてあった美術館や啄木夫婦歌碑などの“文化”、展望台や遊園地、動物園、喫茶店など“人”が集まる場所「岩山」としました。「懐かしさや思い出を求めてあの頃の自分に会いに行く」をコンセプトに、岩山に行きたい！と思わせるようなエピソードを織り交ぜ、人ととの繋がりや成長を描きながら物語を開させます。また、脚本家や演出家のほかにもスタッフに若い世代の地元演劇人を取り込んで新たな体制での公演を目指し、様々な角度から作品の魅力を高めるような取り組みも行います。

## 8 事業内容

演目：「MORIOKA CHRONICLEⅢ 岩山大作戦」

脚本：遠藤雄史、榎原明徳、ササキササ

ドラマドクター：高村明彦

演出：似内仁（総合演出）、ベロ・シモンズ、角館信哉、夏坂俊也

アクティングアドバイザー：くらもちひろゆき

専任スタッフ（舞台監督、演出助手、舞台美術、音響、照明ほか各プランナー等）

：地元演劇関係者

出演者、スタッフ：一般公募

## 9 実施体制

主催 公益財団法人盛岡市文化振興事業団

第10回盛岡劇場「劇団モリオカ市民」公演実行委員会

共催 盛岡市、盛岡市教育委員会、盛岡演劇協会

後援 地元報道各社など

実行委員会体制 別紙委員会名簿のとおり

実行委員会事務局 公益財団法人盛岡市文化振興事業団 盛岡劇場

## 第10回 盛岡劇場「劇団モリオカ市民」公演実行委員会 名簿

役 職	氏 名	所 属 等	備 考
名誉会長	内 館 茂	盛岡市長	第9回～継続
会 長	遠 藤 雄 史	もりげき演劇アカデミー事業検討委員・講師 盛岡演劇協会 会長、トラブルカフェシアター 代表	第7回～継続 脚本・演出担当
副会長	金 野 万 里	もりおか復興支援センター センター長 一般社団法人 SAVE IWATE 事務局長 文化地層研究会事務局	第1回～継続
副会長	倉 持 裕 幸	もりげき演劇アカデミー事業検討委員・講師 岩手県演劇協会会长、八時の芝居小屋制作委員会委員長 感劇地図編集委員会 代表代行、架空の劇団 代表	第1回～継続 脚本・演出担当
委 員	高 村 明 彦	もりげき演劇アカデミー事業検討委員・講師 八時の芝居小屋制作委員会 副委員長	第1回～継続 脚本・演出担当
委 員	川 村 瞳	もりげき演劇アカデミー事業検討委員	第1回～継続 制作担当
委 員	似 内 仁	もりげき演劇アカデミー事業検討委員・講師	第5回～継続 脚本・演出担当
委 員	ベロ・シモンズ	もりげき演劇アカデミー事業講師 ボーイズドレッシング 主宰	第10回新規 脚本・演出担当
委 員	辻 本 恒 徳	盛岡市動物公園 園長	第10回新規
委 員	大 谷 陽 介	平和観光開発株式会社 盛岡カントリークラブ 支配人	第10回新規
委 員	佐 藤 博	盛岡市都市整備部 公園みどり課長	第10回新規
委 員	城 守 まゆみ	盛岡市交流推進部 文化国際課長	第9回～継続
委 員	村 上 秀 樹	公益財団法人盛岡市文化振興事業団 事務局長	第8回～継続
監 事	大 石 仁 雄	もりおか八幡界隈まちづくりの会 相談役	第5回～継続
監 事	齋 藤 美 希	盛岡市教育委員会 総務課長	第9回～継続

(所属等 R7.5.29 現在)

事務局長	伊 藤 伸 二	盛岡劇場・河南公民館 館長
事務局次長	高 橋 邦 夫	盛岡劇場・河南公民館 副館長
事務局員	田 澤 優 紀	企画事業部 兼 盛岡劇場・河南公民館 主任
//	佐々木 明 奈	盛岡劇場・河南公民館 主事補
//	武 田 華 奈	企画事業部 主事補
//	大志田 千鶴子	盛岡劇場・河南公民館 事業推進専門員 兼 主任社会教育指導員
//	渡 邊 奈津子	盛岡劇場・河南公民館 事業推進専門員 兼 主任社会教育指導員
//	久 保 聖	盛岡劇場・河南公民館 事業推進員 兼 社会教育指導員
//	姉 吉 芽 衣	盛岡劇場・河南公民館 事業推進員 兼 社会教育指導員